

行動形成のメカニズムの理解から

# 保育を応用行動分析する

復習!!

# 行動の分析の基本的考え方とは

- 行動を起点に、前後の3つの関係(「三項随伴性」と言う)で説明する。

直前の事象

テレビがついていない

行 動

リモコンを押す

直後の事象

テレビがつく



なぜ、リモコンのボタンを押すのですか?

# 消去(Extinction)とは

強化刺激により増えていった行動も、その強化刺激(事象)が除去されれば、徐々に当該の行動は減少していきます。

これを「消去(Extinction)」と呼びます。



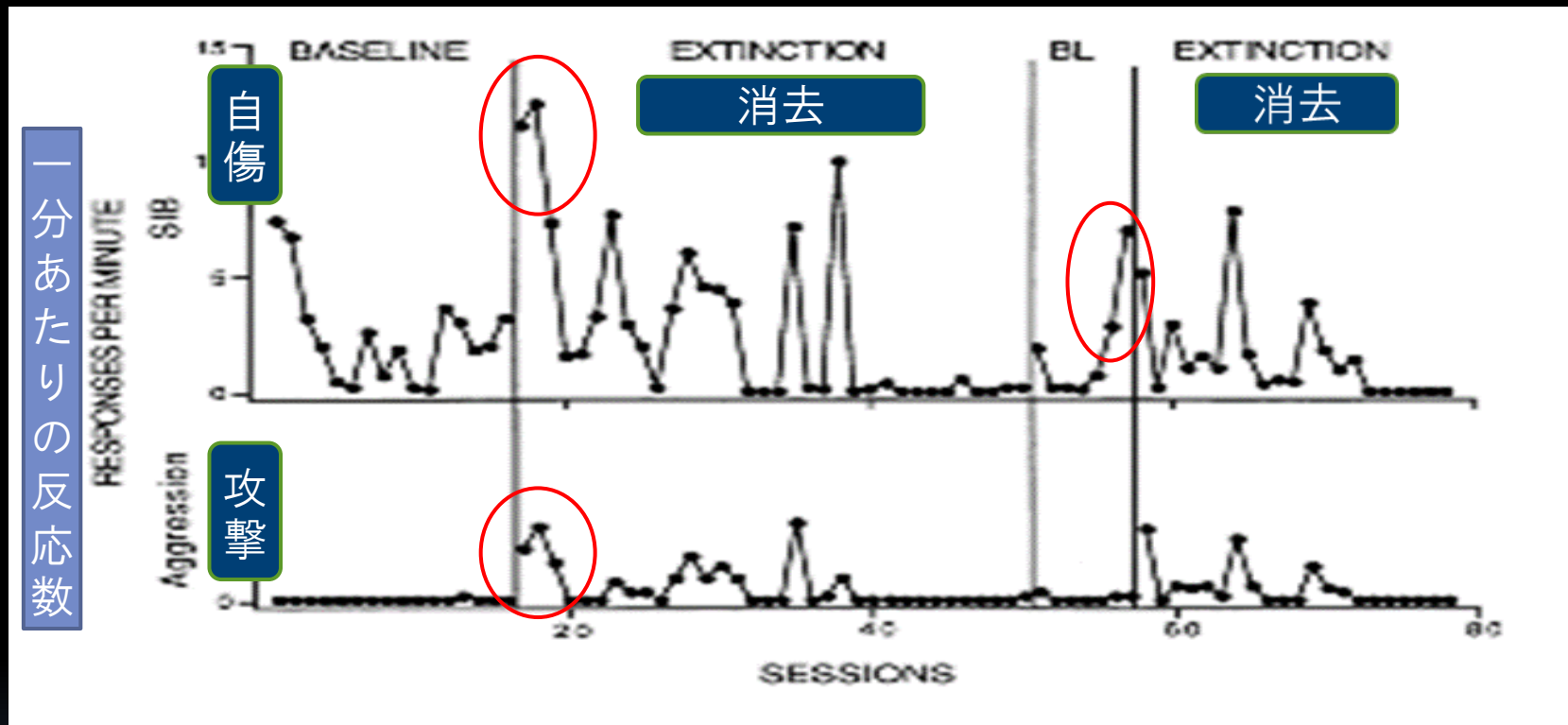
# 消去手続き (extinction) のリスク

- 消去抵抗
- 消去バースト・攻撃性の生起
- 自発的回復
- 限定的な効果
- 模倣の出現

ただし、厳密に手続きを維持すれば、消去による効果は大きい。

要は、厳密に手続きを維持することが出来るような環境設定があるかなのです。

# Goh & Iwata(1994)の「消去」の研究



一分あたりの反応数

対象:重度の知的障害のある40代男性。

行動:標的行動は自傷行動(激しく平面に頭を打ち付けたり、手首で頭を叩く)。ちなみに攻撃行動(周囲の人の身体を叩いたり、蹴ったりする行動)は、直接の介入対象ではない。

分析:自傷行動は、「教示からの逃避(escape from instructions.)」。すなわち、「負の強化」により維持していた。

# ではこれは・・・??

## Discussion !

- 註:これは架空の話です

椅子に座り続ける事が苦手なC雄君。椅子から立ち歩いたら(これを「分析する行動」として定義します)、おしりペンペンすることにしました。すると椅子から立ち歩くことはなくなりました。

ここに記述されていることで説明すること。

# 「弱化」・・・??

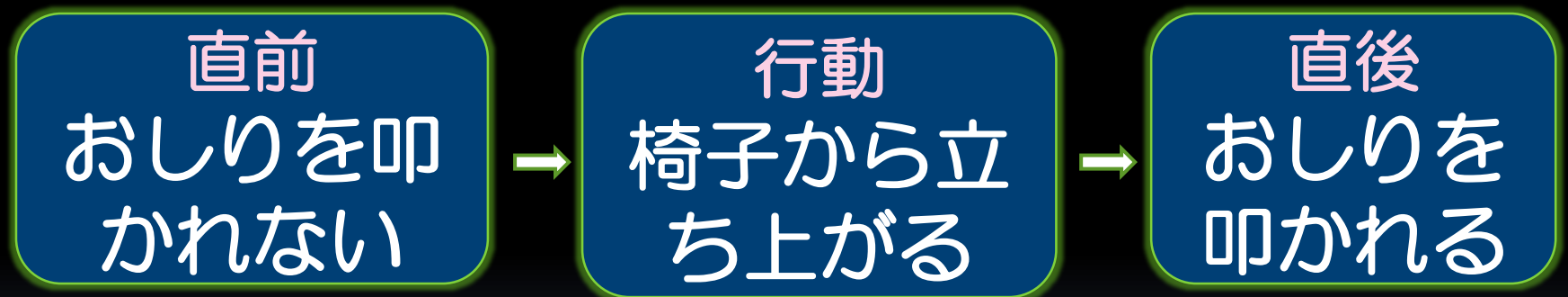
- 註:これは架空の話です

椅子に座り続ける事が苦手なC雄君。椅子から立ち歩いたら、おしりペンペンすることにしました。すると椅子から立ち歩くことはなくなりました。

おしりペンペンにより「弱化」が起こっている。

# 行動を減らす・・・

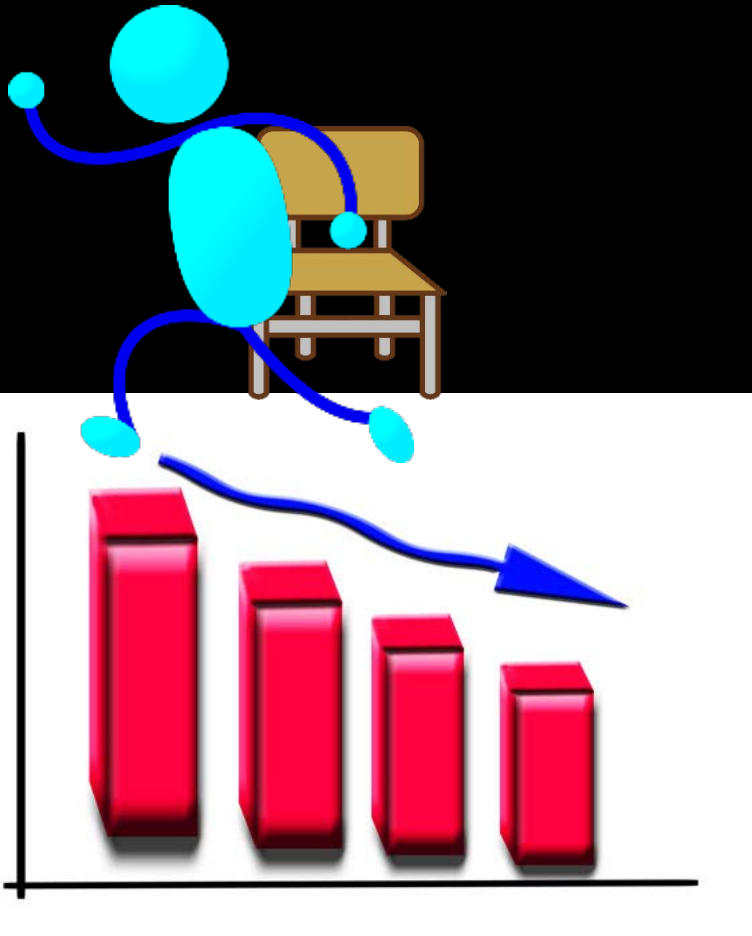
- 行動の生起頻度(生起確率)を減少させる。これを「弱化」という。弱化を引き起こす行動の直後の刺激を「罰刺激(punisher)」と言います。



おしりを叩かれても、椅子から立ち上がるが増加・維持していたならば、おしりを叩かれることは「弱化とは(????)」のです。



# 行動と行動の直後の事象との関係



「弱化

Punishment」  
と言います。

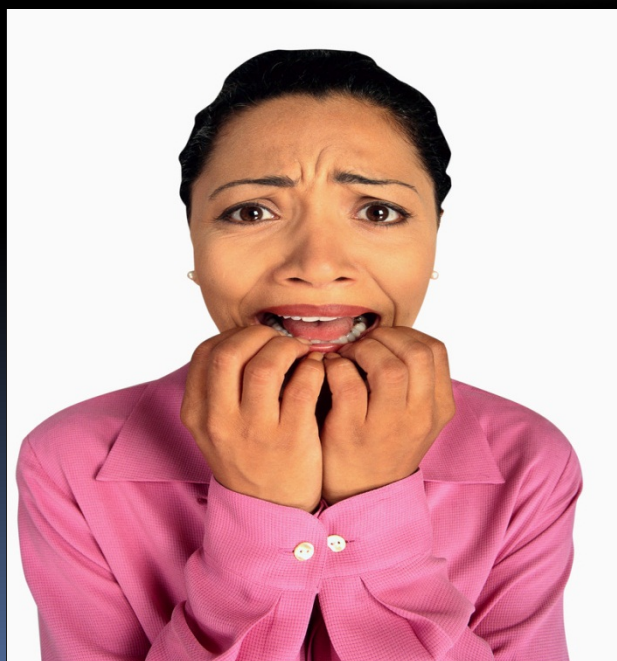
# 正の弱化、負の弱化

## Discussion!

- 「強化」には、「正」と「負」の機能的関係がありました。
- それでは「弱化」を引き起こす「罰刺激」にも、「正」と「負」の機能的関係があるのでしょうか？
- あるとすれば、具体的に例を挙げて説明せよ。

「正の弱化」のイメージ図

正すなわち  
(+)



# 「負の弱化」のイメージ図



負すなわち

( — )



# 弱化は・・・

## Discussion!

- 「弱化」により減少した行動。生活全般にわたって提示されていると・・・どうなりますか？

何もすることがなくなります・・・

# 「弱化」の問題

- 倫理的問題。
- 教育やセラピーが嫌悪的になる。またドロップアウトに繋がる。
- 不適切行動の減少には繋がるが、適切行動の生起には繋がらない。ちなみに問題行動にはコミュニケーション機能があることがわかっています。
- 効果が限定的（場所や人）である。



# 弱化の原理と「保育」

なぜ、怒鳴るのか



# 叱る!!

- いよいよ夢だった教壇に立つことが出来ました。気を引き締めて教育者としての第一歩を歩むことになったのです。
- それにしても、なんてやかましいクラスなのでしょう。このままでは、いけません。なめられたら学級崩壊につながるかもしれせんから。
- 「うるさい!!!」。私は、カー杯怒鳴りつけました。すると、子ども達は「し～ん」。なるほどね。しっかり叱ることも大事なことね。
- ところが、ある日、先輩先生から・・・  
「アリカワ先生・・・先生、最近、いつもいつも怒鳴られるから学校へ行きたくないと言っている子がいるらしいです。私も、先生が何かあればすぐに怒鳴りつけているところを目にするのですが、大丈夫ですか・・・?」と。

- ・ 子ども達が、怒鳴られて静かになるのはなぜ?
- ・ そして、アリカワ先生が危険な状態になっていることを、これまで学んだ知識を使って説明してください!